



生田緑地の谷戸

ムネクリイロボタル、カタモンミナミボタル、クロマドボタル、オノボタルは産生ボタルです。

スジグロボタル

スジグロボタルは半水生といわれ、滝り流れる湧水に浸かった場所に生息しており、県下でも限られた地域にしか生息していません。生田緑地を特徴づける生物です。



水辺の生物

生田緑地の谷戸の水辺には、その他にも、きれいな水辺や溜地の好きな生物がたくさん生息しています。善にはまず、シオヤトンボが現れ、盛夏からはオニヤンマが悠然と飛ぶ姿も見られます。両生類ではアスマヒキガエルやシュレグアルアオガエル、魚類ではホトケドジョウ、爬虫類ではシマヘビや



アオダイショウ

もいます。

生田緑地の自然を大切に

生田緑地には、かつて多摩丘陵の谷戸に普通に見られた生き物の多くが辛うじて生き残っています。これらの生物と湧水の流れる水辺を有する谷戸は川崎の宝です。皆さんの力で、この生田緑地の自然を次の世代に引き継いでいきましょう。

ホタル観察会

日時 6月11日(土)、18日(土) 18~19時
会場 生田緑地ビジターセンター2階

生田緑地ホタルの国への案内図



特定非営利活動法人 かわさき自然調査団
電話 090 (2171) 7214

E-mail: hotaru@konrac.org
http://www.geocities.jp/npo_konrac/hotaru.html

生田緑地整備事務所
電話 044(933)2063



生田緑地ホタルの国 からの招待状

期間：2016年6月10日(金)～26日(日)
時間：19:00～21:00

生田緑地【ホタルの国】は地名ではありません。限られた時間だけ、生田緑地に出現する仮想の国です。そこで皆さんは生田緑地のガンジボタルの光の舞に出会うことができます。

私たちは昔から生田緑地に暮んでいるガンジボタルです。近年の川崎は明るくて、私たちは生活しにくくなっていきます。それでも皆さんが水辺を大切に保全して、暗がりを残してくれたれば何とかが生きていけると思いますが、どうぞ、私たちが生きていけるように優しく見守って下さい。

【ホタルの国】は私たちが大人になって飛翔発光する黒色を見られる会場です。どうぞ皆さんで觀賞しに来て下さい。

